

スポーツ庁 R4年度「Sport in Life推進プロジェクト」に採択決定！ スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業の実施について

AIロボットとの対話でスポーツの習慣化を目指す実証を開始

このたび、(公財)横浜市スポーツ協会とKDDI(株)による健康経営支援サービスの開発にあたり、その実証実験としてスポーツ庁が推進する「スポーツ人口拡大に向けた取組モデル創出事業」として実施します。

本実証では、KDDIが開発した音声対話AI技術を活用し、実際のパーソナルコーチの指導方法を学習したAIコーチングロボットの指導や支援を受けることで、参加者のスポーツ実施に関する意識・行動変容を検証します。

概要

横浜市スポーツ協会とKDDIは、2022年10月31日から、音声対話AI技術を活用しスポーツ習慣化を目指す実証（以下 本実証）を開始しました。本実証では、参加企業のオフィスにKDDIの音声対話AI技術を搭載したコミュニケーションロボットを設置し、ロボットと参加者が会話しながら運動に取り組むことで、毎日の運動が習慣化され、社員のスポーツ実施率の向上につながるかを検証します。

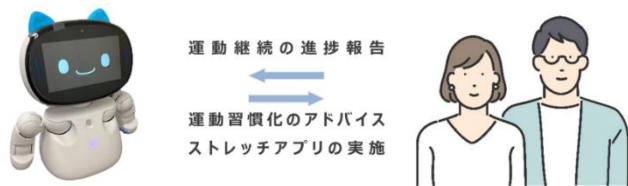
横浜市スポーツ協会では、本実証に参加する企業・従業員向けの健康増進プログラムの提供と、パーソナルコーチとして指導するAIロボットの各種運動プログラムの指導・提供を行います。

本実証における背景

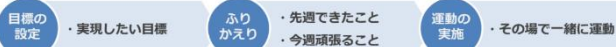
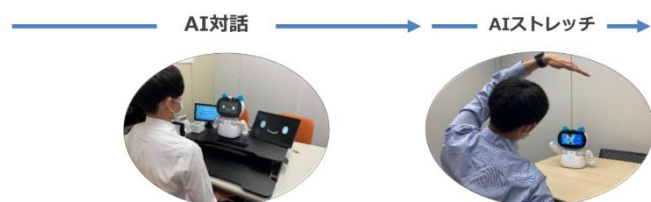
現在、日本の成人における週1回以上のスポーツ実施率は56.4%となっており、文部科学省の掲げる第3期スポーツ基本計画の目標値70%と乖離しています。スポーツ実施を妨げる要因として、働く世代や子育て世代を中心に、家事や育児、仕事の忙しさにより、スポーツに対する気力が薄れることや、スポーツに割く時間がないことが挙げられます。

そこで、スポーツの実施率向上とスポーツの習慣化に向け「いつでもどこでもスポーツができること、適切なアドバイスを受けられること」の実現を目指し、KDDIとの連携により、さまざまな働き方に応じた運動の機会を提供します。

AIロボットの役割



AI技術によるスポーツ習慣化のサポート



さまざまなスポーツの機会を提供



■ 本件に関するお問い合わせ先

(公財)横浜市スポーツ協会 経営企画課担当課長 谷口 郁美
TEL 045-640-0016